

# 釧路湿原から紡ぐ

今年度完成予定！  
ストーリーを磨き上げ  
現場で「使える」計画へ

## 地域と未来のストーリー

釧路湿原国立公園が持つ自然・文化・歴史の魅力を掘り起こすため、昨年スタートした「インタープリテーション全体計画」。釧路地域・鶴居村・標茶町の各地域で開催したワークショップで集まった声をもとに、現在釧路湿原の「ストーリー」が見えてきました。

今年度は、このストーリーを多くの方々と共に磨き上げ、いよいよストーリーの「完成」を目指します。そして、ガイドや観光、教育など実際の現場で「使える」計画へと育てていくスタートの年です。本イベントでは先進事例の講演を交え、釧路湿原の物語を未来の体験価値へどうつなげていくかを共に考えます。

2026 **参加無料**

6.24 (水)

18:30-20:30  
(開場18:00)

会場: 港まちベース946BANYA

北海道釧路市錦町2丁目4

釧路フィッシャーマンズワーフM002階

参加お申し込み

これまでの取り組み  
(note)



### インタープリテーションとは？

自然や文化、歴史などの資源に隠された意味や価値を、参加者に楽しく、分かりやすく伝えるための教育的・対話的なコミュニケーション手法。情報伝達だけでなく、感動や気づき、主体的な学びを促すことを目的とし、ガイドやレンジャー、企業の新入社員研修など、様々な分野で活用されています。

18:00 開場・受付

18:30-18:40 開会挨拶

インタープリテーション全体計画の価値と活用法  
釧路自然環境事務所長 岡野 隆宏

18:40-19:10 講演①

インタープリテーション全体計画の価値と  
地域での活用法

一般社団法人インタープリテーション協会監事  
川嶋直事務所 川嶋 直 氏



八ヶ岳のキープ協会にて環境教育事業を担当。参加体験型の環境教育プログラムの開発・人材育成・イベントプロデュースなどを行う。退任後、研修ファシリテーター、企業・行政・NPOの環境教育アドバイザーとして活動。

19:10-19:40 講演②

「地域のアイデンティティをツアーで表現」  
ストーリー型ツアーの造成

株式会社mint 代表 / 「sokoiko!」代表 石飛 聡司 氏



観光関係事業の経験ゼロからサイクリングガイドツアー「sokoiko!」を創業。インバウンド向けに「一本の映画をみるように」地域のストーリーを巡り、地域の方との交流や体験を重視した電動自転車ツアーを全国に展開。

19:40-20:20 トークセッション

釧路湿原の物語をどう語り継ぐか ※質疑含  
釧路国際ウェットランドセンター 新庄 久志 氏



1948年帯広生まれ。釧路湿原総合調査に参加し国立公園化に尽力。1995年より釧路国際ウェットランドセンターで湿地保全に携わり、78カ国で研修を指導。釧路市在住。

20:20-20:30 業務概要・今後の展望

昨年度の取り組み内容と今年度の予定は裏面をご覧ください。

## スタートアップミーティング

3地域合同

インタープリテーションの基礎や他地域の実践事例を共有。定員を大きく超える80名が参加し、地域全体で価値をどう伝えるかの熱い議論が交わされました。

- ・ゲスト(登壇順):川嶋 直 氏 <一般社団法人インタープリテーション協会 監事 >
- 瀬戸 正志 氏 <雲仙観光局 統括事業部長 >
- 新庄 久志 氏 <釧路国際ウェットランドセンター >



## 第1回 魅力掘り起こしワークショップ

釧路地域

鶴居村

標茶町

2025年12月に鶴居村、標茶町、釧路地区の3地域で開催し、地域住民や事業者など多様なメンバーが集まりました。

「釧路湿原のここが好き!」をテーマに付箋で魅力を出し合い、「**何もないことが宝物(鶴居村)**」「**湿原が日常の風景にある(標茶町)**」「**猛禽類がいすぎて感覚がバグる(釧路地域)**」など、暮らしているからこそ見えてくるディープな魅力が続出! 当たり前だと思っていた景色が、実は特別な宝物だったと再発見する熱い時間となりました。



## 第2回 魅力の「勝手井」づくりワークショップ

釧路地域

鶴居村

標茶町

2026年1~2月にかけて開催。第1回で集まった地域の魅力を「ネタ」に見立て、具体的なターゲットに向けた最高の体験プラン(勝手井)を考えるワークに挑戦! 「残業続きの会社員」や「移住を考える人」などのお客様を想定し、ネタを組み合わせると……「**釧路エリアの馬い井**」「**無いことが宝井**」「**余白井**」など個性豊かなストーリーの種(お品書き)が次々と誕生! 「その視点はなかった!」と、各会場で思わず唸るような熱いアイデアが飛び交う時間となりました。



# 今年度はストーリーを完成させ、現場で「使える」計画へ!

### STEP1:7月開催予定

#### ストーリーの「編集会議」

ストーリー原案に対し「地元ではこんな表現はしないな」「この視点も入れたい!」と皆さんの想いを乗せて(赤ペンで)加筆・修正を行います。現場で語りやすい言葉へと磨き上げます!

### STEP2:9月開催予定

#### 現場で「ストーリー検証」

3地域合同で開催! 作ったストーリーが、現場でどう機能するのか? みんなで歩いて「ストーリーの追体験」を行い、実践に向けた実現性を現場で検証!



### STEP3:11月開催予定

#### 自分ごとにする「まとめの会」

「完成したストーリーを、自分の仕事や活動でどう使うか?」を考える実践ワーク。物語を魅力的な「体験」に変え、現場で使っていくための具体的な一歩を踏み出します!

